



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S
The Y's Men's Club of Kanazawa
CHARTERED JULY 9, 1947
c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est Facere—To dare is to do”
アジア地域会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est Facere—To dare is to do”
西日本区理事主題	「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」	“Contribute to the Community through Active Services with Love”
中部部長主題	「先ず一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」	
金沢クラブ会長主題	「One for All, All for One with Y's Spirits」	

2011 9 月間強調 Menettes

今月の聖句

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずだ。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

コリントの信徒への手紙一 10 章 13 節

9 月強調月間

各クラブでメネット例会を企画し、国内プロジェクトへの理解を深めましょう。

大澤玲子メネット事業主任
(熊本ひがしクラブ)

9 月例会 プログラム

と き	2011 年 9 月 15 日 (Thu.) 18:30~20:30
と ころ	金沢ニューグランドホテル
会 費	¥3,000(会員不要) ¥2,000(メネット) 司会 山内ミハルさん
開 会 ・ 点 鐘	数澤メネット会長
主 題	司 会 者
ワイズ・ソング	一 同
今 月 の 聖 句	司 会 者
ゲ ス ト 紹 介	数澤メネット会長
食 前 の 感 謝	高口紀子さん
~~~~~ 会 食 ~~~~~	
ス ピ ー チ	「朗読〜郷土の作品に親しむ〜 朗読小屋 浅野川倶楽部 生田露子氏 菊川豊子氏 八木紀子氏
委 員 会 報 告	各 委 員
ニコニコタイム	澁谷節子さん
Y M C A の 歌	一 同
閉 会 ・ 点 鐘	数澤メネット会長

8 月 クラブ活動状況

第 1 例会 (8 月 18 日 Thu.)

メ ン :	伊藤、影山、数澤、高口、幸正、澁谷、 山内、山本	(8 名)
メキヤップ :	なし	(0 名)
出席率 :	80 %	
メネット :	伊藤、数澤、高口、澁谷、山内、山本	(6 名)
ゲスト :	鷗村義隆氏、鷗村外志江氏	(2 名)

第 2 例会 (8 月 1 日 Fri.)

メ ン :	伊藤、影山、数澤、幸正、澁谷、山内	(6 名)
メネット :	数澤、山内	(2 名)

ニコニコタイム	11,000 円
クラブファンド 累計	28,000 円

B F ポイント

切手	0 kg	累計	0 kg
現金	0 円	累計	0 円

第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30

金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311

第二例会 : 毎月 1 日 18:30~20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

会 長	幸正一誠	書 記	山内健司
副 会 長	澁谷洋太郎	会 計	高口昇
直前会長	数澤輝夫	メネット会長	数澤淑子

## 《ヘレンケラー女史、二度金沢へ》

影山 雅一

目と耳が不自由でありながら、その障害を乗り越えて、福祉事業に貢献し、人々からは、奇跡の人、聖女として尊敬された、アメリカのヘレンケラー女史(1880年から1968年)は、これまで2度金沢の地へ来られました。

最初は、昭和12年(1937年)春、国賓として日本へ到着。早速、林銑十郎内閣総理大臣を表敬訪問されました。この時林銑十郎総理大臣はヘレンケラー女史に言いました。「私の郷里は金沢です。金沢にも、盲学校、ろう学校がありまして、わたしはこの学校に、「心鏡高明」の文字を書いて、生徒の皆さんを励ましたことがあります。」この話を聴いたヘレンケラー女史は即座に、「その金沢へ私、行きたいと思います。」と約束されました。

日本の各地を訪問のあと、本当に予定外の金沢に来られたのです。

昭和12年6月10日に、金沢市小立野5丁目にある石川県立学校・ろう学校を訪問。講堂に集まっていた全校生徒、保護者、卒業生らに、通訳を介して、親しく励ましのお話をされました。

学校側では、お礼のお土産として、九谷焼も香炉を贈呈しました。この香炉は、小松市の聴覚障害者で、九谷焼作家の二代目三ツ井為吉さんの作品でした。

ヘレンケラー女史は、この香炉を手で触りながら、「これは美しい。ありがとう」と言って、大変喜ばれたそうです。

また、林銑十郎総理の書、「心鏡高明」の扁額は保存されており、今、石川県立盲学校の校長室に掲げられています。

第2回目の金沢来訪は、終戦後の昭和23年(1948年)9月24日でした。金沢市尾山町の、金沢市中央公民館(旧金沢市公会堂、現石川県文教会館)で、北陸3県を中心とした、視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者など、約1,200名に対して、ヘレンケラー女史は、明るい表情で力強く講演をされました。

参加者一同は、生きる喜びと、希望を与えられ、大変深い感銘を受けたのでした。

この時の会場での写真や、当時報道された新聞記事の切り抜きは、昭和12年と昭和23年分とも、今も大切に保存してあります。

### Happy Birthday

今月は該当者はありません。

### 朗読小屋について

2005年4月、発起人高輪眞知子氏、表川なおき氏により、かつて劇場文化が盛んであった尾張町に常設の「朗読小屋」として開設された。県民市民を対象に朗読講座を開講し、郷土文学作品の魅力に触れると同時に地域文化のあり方を追求している。

来る9月29日(木)、第12回定期公演を開催予定。「移動劇場～朗読と紙芝居～」は県内様々の場所に出向いており、100回を超える。

### 【8月例会スピーチの概要】

8月例会はゲストスピーカーに建築設計・施工会社の経営のかたわら、歌手として活躍の畠村義隆氏を招き、「台湾を愛した日本人」と題して、八田与一氏の生き方、業績について卓話をお願いしました。

先ず初めに、「嗚呼！フォルモサダムの父」を、キーの高い、素晴らしいテナーで歌っていただきました。



余談ながらこの歌は、3年前、私たち夫婦の孫(当時小学5年生)が八田与一氏の出身校である花園小学校から、彼の足跡をたずねる旅行が行われ、メンバーの一人として参加したのですが、その時、児童たちは畠村氏の指導を受けていたので、私はこの歌をよく知っていました。

畠村氏はNHKの番組での歌手募集に応募し、600余名の中から選抜されたことが歌手になるきっかけとなったこと、「嗚呼！フォルモサダムの父」を歌うことになったいきさつについて話された後、八田与一氏のいろいろなエピソードや彼の業績を紹介され、氏の没後70年以上たった今もなお、台湾で高い評価を受け、多くの人々から愛され、慕われていることを紹介してくださいました。

八田与一氏は、56歳のとき、陸軍省より南方開発要員としてフィリピン派遣の命をうけ、船で任地に向かう途中、アメリカ潜水艦の魚雷攻撃を受け、東シナ海で亡くなったのですが、その3年後、外代樹夫人は、烏山頭ダムの放水路に身を投げ自殺されたという。

最後に畠村氏は、私達の要請にこたえて、その夫人

を偲んで作られた、寫村氏作曲の「嘉南大圳の母」を歌って公演を締めくくられました。



終了後、寫村氏を囲んで記念写真をパチリ！

(文責 山内 健司)

### 【中部部会に参加して】

2011～2012 年度部会の先頭を切って、8 月 28 日に中部部会が開催されました。会場は名鉄ニューグランドホテルです。

金沢クラブの面々 8 名 + 1 名は（数沢メン・メネット、伊藤メン、幸正メン、澁谷メン・メネット、山本メン・メネット、） + （草野メン）は会長手配によるバスチケットを持って J R バスに乗りこみました。中部評議会も澁谷直前部長と伊藤直前会計の最後の仕事となりました。あと中部の仕事としては伊藤さんが交流事業主査、澁谷が直前部長の役目があります。メネット会も開催されました。

講演は東海テレビの高井 一氏（アナウンサー）の「テレビと私とことば」がありました。8 月のはじめに放送内で不適切発言があったようで、冒頭からそれのお詫びもあり折角のお話も迫力が少し足りないようでした。

部会のなかで入会式がありました。名古屋プラザクラブの常盤眞理子・津クラブの亀野貞君 2 名の入会でした。幸先の良いスタートとなり期待できそうです。



さて、本題はこの程度にして、バスに乗り込んでしばらくすると、数沢直前会長がなにかゴソゴソとしております。そのうちに此处にあったと北国新聞を畳んでおります。朝の早い時間でしたので誰も新聞を見て

おりません。なんだろうと思っておりますと「この記事だ」と新聞が回覧されました。数沢さんのいい男が大きく写っているではありませんか。見出しは「ミニ図書館リニューアル」円光寺住宅町会ボランティア運営とあり、この手の記事としては大きな面をとっております。記事の面積の大きさだけではなく、町会での取り組みの熱意、良さが評価されての内容であり皆で拍手を送りました。記事と写真は家宝になるものと思います。

こんな良い話を乗せて金沢クラブ一行は金沢から名古屋へと出かけたのであります。

澁谷 洋太郎 記

### ~~~~~ お 知 ら せ ~~~~~

#### ☆ 第 15 回中部部会

2011 年 8 月 28 日（日）、名鉄ニューグランドホテルで開催され、伊藤、数沢、幸正、澁谷、山本の 8 名が参加されました。

#### ☆ 理事通信より

部会では東日本大震災復興支援を目的としたワイズの帽子を販売し、その収益は全て献金に充当します。この帽子は地域奉仕その他ワイズの活動を行う時に愛用して頂ければと思います。メン・メネット・コメット用に 3 種類製作されます。また被災地子供たち支援の為にメネット募金活動なども行われますので合わせてご協力をよろしくお願いいたします。

#### ☆ 京都部部会（ホスト：京都みやび）

日 時：9 月 11 日（日） 10:00～16:00

場 所：福知山 三段池公園総合体育館京都みやび  
会 費：6,000 円

#### ☆ 中西部部会（ホスト：大阪西）

日 時：9 月 17 日（土） 10:30～18:00

場 所：ホテルクライトン新大阪 大阪西  
会 費：6,000 円

#### ☆ 阪和部部会（ホスト：大阪サウス）

日 時：9 月 23 日（祝・金） 10:00～14:30

場 所：大阪南 YMCA 大阪サウス  
会 費：4,000 円

#### ☆ びわこ部部会（ホスト：草津）

日 時：10 月 16 日（日） 10:30～15:00

場 所：クサツエスパホテル 草津  
会 費：10,000 円



## ☆ 十勝ワイズポテトの入荷

日 時：10月10日(祝・月) 9:00～9:30

場 所：山内健司君宅 金沢市横川 2-268-2

集 合：時間は後日連絡します。

## ☆ ながまちふれあいフェスティバル 2010

日 時：11月13日(日) 10:00～15:00

場 所：中央公民館長町館・長町緑地・老舗記念館

当日は金沢YMCA及び金沢・金沢犀川ワイズメンズクラブの活動状況の紹介並びに国際協力募金のパネル展示を行いますのでご参加ください。

~~~~~

× ネット 報

~~~~~

### 第24回アジア大会に参加して

私たちは2011/8/5～7に開催される、第24回アジア大会に参加することにしました。

問題がありました。パスポートが一昨年に切れていました。新しく申請するにしても後期高齢者に突入する私たちには、何年のパスポートにするのか、いつまで元気でおられるのかが悩みでした。思いは通用期間いっぱい使えるように、旅行を楽しみにしようということになり、10年間パスポートを頂きました。

もう一つの問題は関空からの出発にしましたが、参加者のほとんどが大阪・京都近辺の方で遠く金沢からは私ども2人だけで、集合時間も遅れることになり特別扱いになります。(名古屋の10名ほどの方々は中部空港よりとのこと)

関空カウンターへは集合時間の30分遅れで到着。旅行社の谷川さん(堺クラブ)が待っていて下さり滑り込みセーフとなりました。

さて台湾へ。時差1時間(時計の針を1時間進めて)の桃園国際空港に到着。何年ぶりの台湾です。流暢なガイド嬢の説明を聞きながら当時と比較しておりました。

いろんな情報は時差なし、自慢は日本は東京スカイツリー、台北は101ビル。高さは違うが塔とビルでは比較にならないと101ビルの自慢。

まず故宮博物館へ直行。様子が様変わりしておりました。それとなんと人の多いこと。皆さんからはぐれないように一生懸命。でも眼の保養になりました。

バスで台北から台風の影響をうけている東海岸を観光しながら宜蘭へ移動。宜蘭は台北から山脈を越えなくてはならないため僻地であったが、14kmの高速道トンネルが開通して1時間の距離になり、開発が盛んになっている。鶴来から日本海を見ている感じです。光しながら宜蘭へ移動。宜蘭は台北から山脈を越えなくてはならないため僻地であったが、14kmの高速道

## ~~~~~ YMCA のお知らせ ~~~~~

### ☆ 早天祈祷会

日 時 2011年10月1日(土) 6:00～7:00

場 所 金沢YMCA集会室

### 10月の担当

ブリテン執筆：数澤 輝夫 君

山内ミハル さん

卓 話 担 当：影山 雅一 君

トンネルが開通して1時間の距離になり、開発が盛んになっている。鶴来から日本海を見ている感じです。

ハプニングです。登録まえに昼食をと外へでたら、主人がびっくりして山田さんだと言います。香港におられるYMCAの山田総主事です。一緒に店をさがすうちに、今度は山田さんの知り合いの台北YMCAの役員の皆さん(台北中正クラブ)と遭遇。テーブル5つほどの食堂に総勢15人が入り、貸切状態になりました。そして宴会がはじまりました。日本では大会直前に登録もせずにお酒が入るなど考えられないのでびっくりしました。主人も山田さんも皆仕上がってしまいました。

アジア大会に参加する  
とこんなこともあるのです  
ね。山田総主事はこのあと  
無事に開会式で挨拶をされ  
たのでホットいたしました。



ホテルのこと。シルキーパレスという新しい良いホテルでした。プール・温泉・サウナ・スポーツジムがありショッピングセンターも併設されているホテルです。大会会場は6Fです。エレベーターのシステムは宿泊棟へは別になっており、部屋のカードキーを差し込まねば階数ボタンが押せないようになっていました。3泊してようやく勝手がわかりました。

台湾の芸能は大変に見ごたえがありました。おどり、太鼓、曲芸を楽しめたのは良い思い出となります。

最後に、7日の晩にユースを励ます夕食会がありました。西日本区から7名の参加で皆さん元気に日本へ帰ってこられました。亀浦事業主任が任期が終わっているのに、責任者として付いておられるのを見て御苦労に感謝いたしました。

言語ができればもっと楽しいのにと、いつものように思っております。  
(澁谷 節子 記)